



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越



2023年10月 はねうま大橋の袂にて 撮影：松本栄規さん

「たより」No.300 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告	2
Jネットの活動とお知らせ	2
同窓会・郷友会コーナー	3
令和6年度 直江津高等学校・直江津中等教育学校同窓会 関東支部総会及び懇親会ご案内	
俳句ひろば	3
小林豊樹 ルディセル泰子	
上越のカフェ	3
カフェ マリキータ (仲町6)	
会員ひろば	4
「パリ2024オリ・パラ大会」観戦記 瀧澤康二	
JネットHPのご案内	6
上越タイムス・上越ケーブルビジョン	6
アクセス方法のご案内	
瀧川鯉橋師匠 高座予定	6
上越産品販売のお知らせ	6
会員ひろば(続き)	7
高田市営球場の思い出 佐久間昇二	
J上越市からのお知らせ	8
ふるさと応援室より	
Jネットからのお知らせとお願い	8

天ヶ下妻肥え子肥え馬肥えぬ
 大花野旅人遠く散らしめぬ
 臨港線日に二往復曼珠沙華
 我に元百姓の血や頬かむり
 秋の蚊の影のごとく来ては刺す

饒村楓石

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は587名(令和6年10月1日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況 令和6年8-9月 243点 492,195円 ※前年同月92点236,790円

Jネットの活動とお知らせ

◆9月12日(木)湯島にてサロン開催

参加させていただいて4回目。ようやく馴染の方々の顔がわかるようになりました。

「郷愁」とは「故郷や昔付き合いのあった人々を懐かしく思う気持ち」と辞書にあります。サロンでの肩の凝らない気楽な会話を通してほっこり癒される時間を過ごすことができます。ふるさとの味(美酒や漬物さらに珍しい差し入れ食物)は集う人々の気持ちを更に和ませてくれます。

ふるさと上越を思い交流することで新たな発見と支えあう価値創造を期待しています。10月はどうなるかな～楽しみです! (内田道行 記)



9/12ご参加のみなさん

今回のサロンは総勢32名で賑やかな懇親会となりました。大島さんが久々の参加、安田さんが初めての参加、お二人共に会員になって頂きました。差し入れは、野田さん/浜野さんから茄子の漬物、平塚さんから土佐の桂月、笹川さんからビール、内田さんから羊羹、小坂から赤ワイン、ご馳走さまでした。(事務局)

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 ◆ 10月10日(木) ◆ 11月14日(木) ◆ 12月12日(木)

参加費1,500円(予約不要・途中からのご参加もOKです。)開催時間17:30~19:00

会場:東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL:03-3832-7619

東京新潟県人会館アクセス(電車)

●東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口から徒歩1分 ●東京メトロ銀座線「上野広小路駅」4番出口から徒歩5分

●都営地下鉄大江戸線「上野御徒町駅」A4番出口から徒歩5分 ●JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口から徒歩6分

◆第55回Jネット勉強会 国立西洋美術館建築ツアー ル・コルビュジェの建築

今回は東京都にある世界遺産の国立西洋美術館を見学・鑑賞します。この建物はコルビュジェが設計・建築し、直江津ご出身の大堀さんにご説明・ご案内していただきます。併せて、特別展の「モネ睡蓮のとき」も鑑賞下さい。(別紙同封のチラシをご参照ください)

<勉強会の実施要領> 11月6日(水)までにお申込下さい。

1.日時:令和6年11月9日(土) 12時15分集合(時間厳守)

2.集合場所:国立西洋美術館エントランスホール

3.募集人数:15名(募集人数に達し次第締切りとさせていただきます。)

4.見学スケジュール:12時30分~14時まで

入場は65歳以上 無料(証明書必要) 65歳未満 500円

※特別展をご覧になる方は各自で入場券を購入して、午前中に鑑賞をお願いします。入場券は2,300円です。

※鑑賞・見学終了後大堀さんを囲んで懇親会を行いますので、ご希望の方は併せてお申込み下さい。

事務局 TEL 03-5244-5138 FAX 03-3294-6106 Mail:k.miyazato@araipt.co.jp

(溝口良二 記)



国立西洋美術館

◆ 令和6年度 直江津高等学校・直江津中等教育学校同窓会関東支部
総会及び懇親会のご案内

日 時：令和6年11月16日(土)午前11時～午後3時

会 場：アルカディア市ヶ谷・私学会館 6階「阿蘇」

(JR・地下鉄「市ヶ谷駅」徒歩2分。千代田区九段北4-2-25) 電話：03-3821-2181

参加費：10,000円(但し令和2年以降卒業の方は5,000円、学生は2,000円、令和6年卒業の方は無料)

内 容：(1)総会及び講演 11:00～12:45 講師：岩嶋敬一(いわしま ひろかず)氏 (昭和56年直高卒)
作新学院高等学校(栃木県)硬式野球部 部長

(2)懇親会 13:00～15:00

お申込み・お問合せは関東支部長 高原隆(瀧川鯉橋)まで

メール：rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp 携帯：090-4730-9032



俳句ひろば

霧晴れて嘗て恨んだ美杉林

鎮守さま照葉溶け合い熊憂う

秋うらら塩飴持たず草千里

子規忌雨新聞紙切り供物とす

秋蟬や網戸で怪死胸騒ぎ

乏硯

とけぬまま問いの残りぬところてん

銀翼の時差超えくれば朝曇

フロリダの雲のパノラマ水着干す

台風圏宿題の灯の遅くまで

黒鍵の鈍き光や夜の秋

ルディセル泰子

上越のカフェ

◆ カフェ マリキータ 上越市仲町6-1-1

2024年7月、仲町に素敵なカフェがオープンしました。

西脇美智子(72)さんは、もともと東本町の出身で、町家住まいの友達が多く、家が細長いことに憧れがあったそうです。カフェをオープンしたいと思った時に町家が良いと思い、「一般社団法人雁木のまち再生」の紹介で、見つかりました。仲町6丁目は人のつながりも強く、週何回も来てくださる方もいらっしゃるそうです。また、アルバイトの方が8人いらして、地元素材の調理を教わり、料理の幅が広がったそうです。

住居だった家なので、必要よりも広く、夫の直行さん(74)の蕎麦屋も併設することにしました。何かあってもすぐに相談できますし、食事が売り切れても、お互いの店も提案でき共存感があって良いそうです。70歳を過ぎてのチャレンジは、ネットニュースにも取り上げられて、県外の知人から連絡が来たりもしているそうです。人が集まってくるお人柄。混まない時間帯をお聞きして伺いましたが、ひっきりなしに来客がありました。(小坂恵美 記)



カフェ マリキータ TEL：080-5696-2709

営業時間：10：00～18：00 (17:30LO)

金曜のみ：10：00～14：00／

17：00～21：00 (20:30LO)

そば処 なおじろう TEL：090-2421-0949

営業時間11:00～15:00 (14:30LO) 定休日：月・火曜



◆「パリ2024オリ・パラ大会」観戦記～メダル争いの意義について～

瀧澤康二

皆さんはパリのオリ・パラ大会を十分楽しまれたでしょうか。私は連夜、テレビの前で選手の活躍に一喜一憂し、応援していました（自宅での観戦は44年＝11大会ぶりでした）。メダル争いは競争そのものですが、あそびと共にスポーツ概念を成立させる重要な要素です。近代オリンピック大会の父と称されるクーベルタン男爵のことばに「選手がお互いに勝利を目指し、切磋琢磨努力することは人として実に貴いことである」と、あります。

便利な現代社会、人類は自らの闘争本能を喪失しつつあるといわれます。スポーツ活動は、その本能を蘇らせる重要な手段でもあります。私は、オリ・パラ大会を頂点とするすべてのスポーツイベントには、その意味でも開催する意義があると考えています。アスリートたちが渾身の力を込めてメダル争いをしている姿を応援していると、自らも一緒に戦っているような錯覚に陥ります。応援も今や立派なスポーツであり、文化です。また、「スポーツ活動は、社会活動の縮図である」ともいわれます。メダルを争う競技者たちは私たちに勇気を与えてくれると同時に、生きる術を伝授してくれます。

日本選手団のメダル量産に重要な役割を果たした一つに国民の血税で創設されたナショナルトレーニングセンター（NTC）があります。本会勉強会担当役員の溝口様には、パリ五輪大会を間近に控えた5月11日（土）に、そのNTCを見学する機会をつくって頂きました。日本を代表して活躍する選手たちが日頃トレーニングする姿を直接見学できる機会でした（たよりNo.297参照）。

ちなみに、「体操ニッポン」も多分にNTCの恩恵を受けています。このNTCは、隣接する日本スポーツ科学研究所（JISS）と密接な連携をし、競技力向上に貢献しています。実は、「アテネ2004オリ・パラ大会」で「体操ニッポン」の復活に大きな役割を果たしてくれたのがこのJISSでした（当時は、未だNTCはありませんでした）。

有難いことに、私たちのふる里、上越市の皆さんにも殊更スポーツ振興に深い関心をもって頂いております。「東京2020オリ・パラ大会」開催前にジムリーナ（体操競技専用体育館）を創って頂きました。このトレーニング場は「準NTC」に認定されています。近い将来、オリンピックを輩出する温床になることを期待して止みません。



味の素ナショナルトレーニングセンター（東京都北区）



上越市立上越体操場ジムリーナ(大潟区九戸浜)

オリ・パラ大会は、オリンピック運動を具現化したものですが、オリンピズムを実現するための重要な一つ的手段です。それは「スポーツ競技を通じて身体を鍛錬するとともに全人としての発達をめざし、スポーツマンシップのもととなっている相互扶助の観念を強め、世界の平和にも寄与していこうとする思想」（オリンピック事典、日本オリンピック・アカデミー編、プレスギムナスチカ、1981）です。私はこの思想を念頭におき「パリ2024オリ・パラ大会」を観戦させて頂きました。

最後に「パリ2024オリ・パラ大会」に祝意と感謝の意を表し、観戦記とさせていただきます。

◆ (続) パリ2024オリ・パラ大会観戦記

～内村航平元選手と岡慎之助選手の共通点 (安定性と美しさを求める体操)～

先のパリ五輪大会体操で快挙を成し遂げた岡慎之助選手の体操は、今の採点規則に最もよく適応していたといっただいでしょう。

そもそも、体操競技は何を競い合っているのでしょうか？長年、男子体操競技の採点規則に携わってきた私にとって体操競技を観戦中、この疑問は頭から離れません。分かりやすく大雑把にいきますと、体操では「演技する要素の難しさ」と「演技の安定性と美しさ」を競い合っているということになります。以前、規定演技が存在していた時代では、演技要素が選手全員に義務化されていたので、そこでは難しさの競い合いはなく、演技の安定性と美しさだけで競い合っていたということになります。

規定演技制度が廃止されて(1997年)からは、自由演技のみで競い合う制度に変わりましたので、競争そのものが高難度志向に傾いて行きました。ここでは、安定性が崩れ、美しさを軽視する採点傾向がありました。その傾向に、更に追い打ちをかけたのが10点満点制度の廃止(2009年)でした。ちょうどその頃に内村選手が頭角を現しました。内村選手の体操は、実に体操競技の競技性にマッチした形で世界にアピールできたのです。

内村選手の体操は、その後の採点規則の改正にも大きく影響を与えてきました。それは、現在の難度(D)を採点する審判団の厳格さと同時に、実施(E)を採点する審判員の厳格さに好影響を与えたということです。

内村、岡両選手に共通する点は、演技の美しさにあります。私を見る目からは、岡選手の演技の美しさは内村選手に若干劣ります。が、それは若い岡選手の今後の課題の一つであり、その点の改善を期待しているところです。

今大会での男子個人総合有力金メダル候補であった中国の張選手は、団体の予選ラウンドから決勝に至るまで全種目にエントリーされていました。個人総合決勝では体力的に問題が生じ、大きなミスに繋がったのではと推察されます。この選手も美しい体操に長けている一人です。個人総合に挑む選手には持久力も大切だということを改めて認識しました。

体操は、第1回五輪大会(1896年、アテネ)から欠かすことなく正式種目として位置づけられています。1936年のベルリン大会で初めて現在のよう男子6種目、女子4種目(女子はこの大会で初めて正式種目として認められる)となりました。それまでの大会では現在の陸上競技の種目(走・跳・投の一部)も体操種目の中に含まれていました。それは、ドイツ体操(Turnen)の名残でもあります。

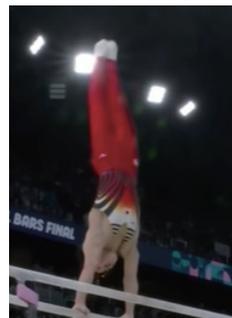
体操の歴史を知れば、個人総合を軽視できません。体操人にとって個人総合の勝者は「体操の王様」です。その6種目には、人にとって必要な動きのすべての動作が演技要素として含まれています。体操競技では、これら非日常的動作を安定した形で、しかも美しく表現することが望まれます。

体操の益々の発展を祈り、(続)観戦記とさせていただきます。

瀧澤さんは板倉出身、日本体育大学卒業後、ドイツへ留学、ドイツ体操競技選手権で2年連続(1967/68)個人総合優勝を果たしています。母校で教鞭をとる傍ら副学長、国際体操連盟副会長を歴任されています。



2024年/岡選手



2024年/岡選手



2012年ロンドン
内村選手



2016年リオ/内村選手

◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

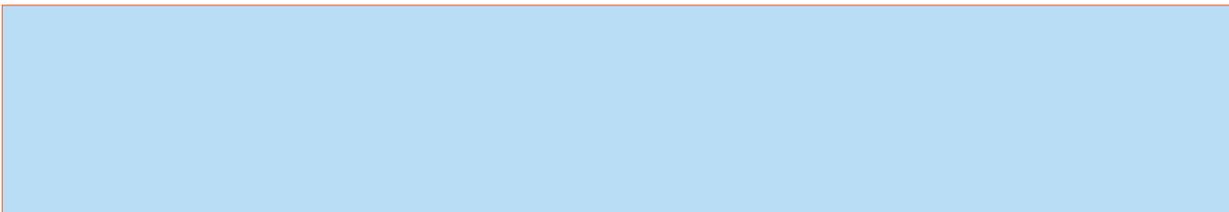
「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、右のコードからご覧いただけます



上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



瀧川鯉橋師匠 高座予定 鯉橋：090-4730-9032 rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp (鯉橋メール)

- | | |
|---|--|
| <p>◇10/11(金)～20(日)新宿末広亭・昼の部
時間：正午～4時半 ※鯉橋は12時45分の出番
木戸銭：3,000円
主任：三遊亭とん馬 ほかに遊三、北見伸、
コントD51など出演
お問合せ：03-3351-2974(末広亭)</p> <p>◇10/24(木)上野広小路亭・夜の部「桃之助と日大文
理学部落研OB会すえひろがりの上野広小路のタベ」
時間：午後6時半～8時半ごろ
木戸銭：2,000円(予・1,500円)
出演：里光、桃之助、笑遊ーお仲入りー鯉橋、
桃之助(以上出演順)
お問合せ：03-3833-1789(広小路亭)</p> <p>◇10/29(火)七人の侍～流浪の落語勉強会～
時間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1,500円
出演：鯉朝、枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、藍馬
会場：お江戸両国亭(両国4-30-4)
お問合せ：090-6520-9252(鳳志)</p> | <p>◇11/10(日)昭月落語会(新川崎・鹿嶋田)
時間：午後3時～5時 木戸銭：2,000円
出演：鯉橋、里光、桃之助
会場：寿司屋の昭月(鹿嶋田1-4-8)</p> <p>◇11/24(日)鯉橋の落語でひとやすみ(第46回)
時間：午後4時～5時半 木戸銭：1,500円
出演：鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの出演あり
会場：喫茶「ひとやすみポン」
(板橋区若木2-34-15。環八沿い)</p> <p>◇11/27(水)三越落語会(日本橋三越劇場)
午後6時開演 詳細未定</p> <p>◇12/16(月)八起寄席(相模大野「焼肉八起」)
午後7時開演 木戸銭：1,500円</p> |
|---|--|
- ☆ブログ『～七転び八起の末のホンダラダ～』
<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。
現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。

● 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。 「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

● 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から約3分)

場 所：有楽町交通会館1階
営業時間：11：00～19：00
年中無休(年末年始は休業)

「雪国商店」または下記のURLよりご覧ください。

<https://yukiguni.shop/>

● 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」

日 時：10月12日(土)・13日(日)・26日(土)・27日(日)

10/26・10/27は、大潟区・頸城区・吉川区・
名立区・柿崎区の事業者さんが販売します。

11月23日(土)・24日(日)

会場・時間：11：30～17：30 交通会館1Fピロティ

「雪国商店」と「雪国マルシェ」お問合せ先 JCV東京情報センター TEL：03-5218-7730

◆ 高田市営球場の思い出

（Jネット初代会長） 佐久間昇二

ふるさと上越ネットワークたより令和6年7月25日発行No.298の中の寄稿文で、小坂庸雄Jネット会長が市営球場について触れられていました。懐かしく、楽しく読ませて頂きました。そこで私も市営球場の思い出話を書いてみたいになりました。

今年4月7日、Jネットの懇談会が上越市で行われ、私は久しぶりにこの会に参加しました。終わってから公園周辺を歩いているうちに、いつの間にか市営球場にたどり着きました。懐かしく近づき、中を見たかったのですが、残念ながら入れません。外側からしか見れませんでした。でも、大変立派になっているのに驚きました。そして思わず75年前の思い出にしばしふけりました。



ここに一枚の写真があります。私が高校3年生の時の写真ですから、今から75年前の物です。写真の裏にはペン書きで、

昭和24年（1949年）8月18日市営球場開場記念 全早慶戦の前座試合終了後撮った。

高田高校5-1柏崎高校 高田高校の勝利。

と書かれています。

開場当時の球場の雰囲気を感じて頂けるでしょうか。恐らくオール早慶戦の始まる前に撮ったものでしょう。スタンドのお客さんが次の試合を待っておられる様子が判ります。

実はオール早慶戦がおこなわれる1カ月ほど前、7月24日に正式な球場開場式が小雨降る中で行われています。当時の関市長の始球式が行われ、その後地元チームによる4試合が行われました。当時の記録によると、

新大分校一商高 高校一工高 大町中一城南中 高田クラブ-柏陽クラブ
の4試合。私は高校の2塁手、6番バッターで試合に参加しました。

実はこの時、球場第一号ホームランが出ました。高田高校キャプテン内藤左翼手がレフトスタンドに打ち込んだものです。ちなみに内藤さんは高校卒業後プロ野球の東急フライヤーズに入団、高田高校出身プロ野球選手第一号として有名です。

ところで、このホームランについて面白い話が残っています。内藤選手に文化自由新聞社からホームラン賞としてポストンバッグが贈られました。それを聞いた柏崎高校野球部が県の高野連に、「内藤選手が賞品を受け取ったことはアマチュア資格に触れるのではないか、今後の試合出場資格を失うのではないか」と訴えたという話が伝わってきました。結論はその異議は却下され、内藤さんはプレーを続けました。内藤さんを失うのはわがチームにとって大変打撃を受ける訳で、柏崎も凄い所に目を付けたものだと言ったものでした。

ところで先の写真を思い出してください。前列真ん中は監督の古沢先生、向かって右が部長の古田先生。（プロ野球青バットで有名な大下選手は台湾時代の教え子だそうです）先生の右隣がホームランを打った内藤選手。その右が私、佐久間二塁手。そして更に右が岩野勇三右翼手。彼はその後有名な彫刻家になり高田公園にも彼の作品展示パークがあります。

実は私も左翼スタンドに一発打ち込みました。と言っても残念ながらワンバンドです。ルールによってこれはエンタイトル2ベース。そんな打球は誰も話題にしてくれません。中距離ヒッターの悲哀であります。

監督の左は山崎捕手、小島一塁手、吉越マネージャー、青木マネージャーと続きますが、前列は先生を除きオール3年生。このメンバーでこの年の春の中部8県大会予選で優勝。県代表として富山市で行われた中部8県大会に出場しました。県大会優勝は野球部が明治40年(1907年)に出来てから実に45年で初めて。歴史をつくったのです。

皆生きていれば93歳です。然し私以外皆亡くなりました。寂しい限りです。

以上

注記：正確を期すため、上越市役所足利企画調整監を通じて図書館の記録をあらっていただきました。足利さん、そして図書館で面倒なことをきちんとやって頂いた担当の方に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



上越市からののお知らせ

◇ふるさと納税返礼品に新米が続々登場！

“令和の米騒動”と叫ばれ、全国的な米不足が話題となりましたが、市内では新米の出荷が最盛期を迎えています。

今年の新米は、適度な雨に恵まれたことや農家の皆様の栽培努力により、例年と比べ品質が良いとお聞きしております。

当市のふるさと納税返礼品にも新米が続々と登場して参りました。お米の食べ比べセットや毎月少しずつお米が届く定期便などラインナップも充実しておりますので、ぜひお求めいただけますとともに、お知り合いの方にもおすすめいただけましたら大変嬉しいです！

また、10月26日（土）に開催される「さとふる祭り 2024 in TOKYO」では、上越市産米の試食PRを行いますので、お近くの方はぜひ遊びに来てください。



【さとふる祭り 2024 in TOKYO】日時：10月26日（土）10時～17時

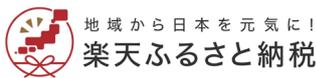
会場：アーバンドックららぽーと豊洲（東京都江東区豊洲2-4-9）

概要：北海道から沖縄まで地域の特産品が大集合！ふるさとの魅力を発見、心地よく、人と人が深く出会える体験型イベントです。越後上越上杉おもてなし武将隊も出陣予定。



au PAY ふるさと納税

※ふるさとチョイスと一部返礼品の連携をしています。



左のコードからふるさと納税9ポータルサイトの情報をご覧ください。

※紙力タログのご用意もあります。

ふるさと応援室（TEL：025-520-5625）までお気軽にお問合せください。

Jネットからののお知らせとお願い

会員の皆様には、ご自分の思い出やご経験、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1,200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。投句もお待ちしております。

さらに、たよりについての感想、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしています。（いただいた感想は、会員ひろばに掲載いたします。）

Mail 送信先 事務局：k.miyazato@araipt.co.jp

◎次号「たより」は令和6年11月25日の発行です。